

11 月 13 日 : 売り圧力が高まり指数は下落

VN 指数は水曜日にも下落、後場に入って売り玉が増え、大型株を中心に下落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.55% 下落し 1012.77 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 8700 万株で売買代金は 6.75 兆ドンであった。

下落した銘柄数は 202 銘柄で上昇銘柄は 105 銘柄だった。83 銘柄が変わらずだった。

火曜日に指数は 0.16% 上昇して 1018.33 ポイントで取引を終えていた。

多くの大型株に売りが集まった。ベトコムバンク (VCB) (-1.3%)、ビナミルク (VNM) (-1.6%)、ビンホームズ (VHM) (-0.7%)、サイゴンビール (SAB) (-1.2%)、テクコムバンク (TCB) (-1.6%)、ビンググループ (VIC) (-0.3%)、ホアファットグループ (HPG) (-1.5%)、マッサングループ (MSN) (-0.9%)、ベティンバンク (CTG) (-0.7%) などが売られた。

上昇した数少ない銘柄の内には、ベトナム投資開発銀行 (BID) (+1.9%)、ハノイビール (BHN) (+3.8%) などがあつた。

VN30 指数は 0.77% 下落し 932.60 ポイントで取引を終えた。

VN30 指数採用銘柄の内の 19 銘柄が下落した。

セクター別では、運輸、小売、ヘルスケア、農業、IT、食品、保険、建設、銀行、不動産、石油セクターが下落した。

BIDV 証券によると、貿易交渉に関するトランプ大統領の発言に加えて、利益確定圧力が強まっていることが、指数は落ち着くまでもう少しの時間を必要とすることを示している。

投資家は、ファンダメンタルズが良好な株式を狙うだろうと同社は予想した。

外国人投資家は売り越し、ベティンバンク (CTG)、ビナミルク (VNM)、ビンググループ (VIC) などが売られた。ハノイ取引所では買い越しだった。

サイゴンハノイ証券によると、買い需要が戻るまで、下落の動きが続くかもしれない。本日の取引では 1000-1005 ポイント付近で上下するだろうと予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.22% 上昇し 107.20 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2930 万株で売買代金にして 3390 億ドンであった。

アジアコマーシャル銀行 (ACB) (+1.2%)、ティエンフォンプラスチック (NTP) (+1.6%) などが指数を押し上げた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。